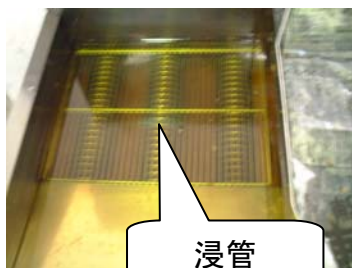


高温排油はしないでください



浸管

《警告》

最低でも油温が90℃以下になるまでお待ち下さい。
油温180℃の場合約1時間が目安

《警告》

- ・高温排油を続けると油槽内に重大なダメージを与え火災につながる恐れがあります。
- ・高温排油はノズルの詰まりの原因になるばかりでなく、電装部品等に付着し誤動作の原因ともなります。

きれいな状態を保ってください



揚げカス等の残り

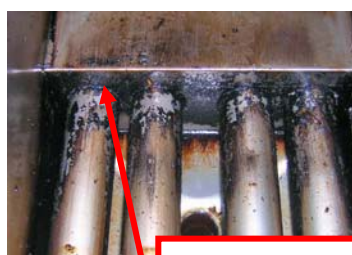
《重要》

揚げカス等が完全に取り除けない時は、煮沸、洗剤等でお手入れをし定期的に取り除いて下さい。

《重要》

浸管と槽との前後の接合部を1ヶ月に1度はブラシ等を使い焦げ付きを取り除いてください。

浸管に焦げ付きがある場合は浸管のステンレスの地金が見える程度まで焦げつきを取り除いて下さい。



浸管の接合部

《警告》

油槽内、浸管に焦げ付きのあるままご使用になると機器の劣化や槽割れによる火災の原因となります。



焦げ付きが落ちにくい場合は販売店又は最寄の弊社営業所へ御相談ください

* 写真はB(G)-TGFL-45をモデルにしていますが、電磁フライヤー(TIFL-**)についても同様に清掃していただきますようお願いいたします。

清掃方法は各機種共通